

# 共生 平和教育



小学校3～6年

社会

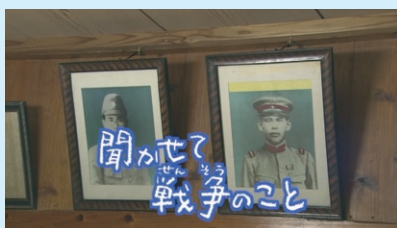
道徳

総合

みんな生きてる 15分

## 聞かせて 戦争のこと (2008年放送)

### この番組の良さ



#### 戦争ってどんなものだろう

沖縄県読谷村、かつて沖縄戦で米軍が最初に沖縄本島に上陸した地です。そこに住む小学校4年生の嘉納英佑くんは、その戦争でひいおじいさん二人が亡くなったことを知ります。ひいおじいさんの娘であるおばあさんや息子であるおじいさんの話を通して、子どもなりに犠牲となった家族と向き合う英佑くんの目線から、戦争とは何かを考えることができます。

#### 身近な視点で戦争を考える

おじいさんやおばあさんは、自分のお父さんであるひいおじいさんが亡くなったことや、戦争への自分の思いをゆっくり語ります。戦争が家族にどのように影響を与えるのか、子どもたちにとって身近な家族の視点から戦争を考えることができます。

### 番組活用のポイント

#### 子どもなりの視点で戦争を見つめる

太平洋戦争や沖縄戦については教科書で学習することができますが、小学生が考えを深めるには、体験談なしでは難しいことです。

本番組では、小学校の4年生の英佑くんが、おじいちゃんやおばあちゃんの体験した話を聞き、どのように感じ、どのような思いを持ったのか伝えてくれます。同じ小学生の戦争への思いを知ること、戦争についてどう思うか改めて問い直し、自分なりの視点で戦争を見つめるきっかけにすることができます。

#### それぞれの立場から考えてみよう

番組は戦争についての二つの体験談で構成されています。一つ目はおばあさんがひいおじいさんの亡くなった様子について伝える場面。もう一つは、おじいさんがもう一人のひいおじいさんの亡くなったガマと呼ばれる自然の洞窟で戦争のことを伝える場面です。

授業では、おじいさんやおばあさんが自分の戦争体験や思いを語る場面を通して、戦争の悲惨さや戦争が家族にもたらす影響の大きさについて考えさせることができます。また、孫の英佑くんがおばあさんやおじいさんの話を聞いて、小学生ならではの素直な思いを語ります。英佑くんが作った詩も併せて取り上げることで、戦争や平和について新しい視点からより深く考えることができます。

#### 他の番組や命の学習と関連させて

平和教育や社会の学習においてさらに学習を深めるために、ティーチャーズ・ライブラリーの関連番組である『シリーズ証言記録 兵士たちの戦争 沖縄戦 住民を巻き込んだ悲劇の戦場』(P.24)も併せて活用すると、違う視点で戦争をとらえることができ、さらに効果が期待できます。また、本番組は取り上げ方によっては平和教育のみならず、道徳の教材としても活用できます。

学習展開例

授業時間 45分

# 戦争とはどんなものだったのだろう おじいさんやおばあさんが語る戦争



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①戦争について知っていることや、聞いたことがあることについて話し合う。	○すでに戦争について学習を進めている場合は、これまでの学習について振り返るとよい。
20分	<p>②番組を視聴しながら考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p><b>視聴</b> ・おばあさんの話を真剣に聞いている英佑くん</p> </div> <div style="width: 65%;"> <p>・孫たちに自分の父親が亡くなった様子を話すおばあさん</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <p>・ガマの前で英佑くんに戦争の様子を話すおじいさん</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <p>・英佑くんが夏休みの体験を通して戦争や平和について表した詩</p> </div> </div>	